

与那原町立軽便駅舎資料館ARコンテンツ刷新業務 公募型プロポーザルにおける評価基準について

1. 基本的事項

与那原軽便駅舎資料館において導入されているAR（拡張現実）アプリは、平成29年度の構築以降、来館者への歴史体験提供に寄与してきた。しかし現状、デバイスの老朽化やOSアップデートへの非対応などの課題がある。本業務では、最新技術を活用したシステム構成の再設計（リプレイス）を行い、既存の優れたコンテンツ資産を継承しつつ、UI/UXを抜本的に向上させることで、より魅力的な展示環境を構築する「刷新」を目的とする。

2. 提案書の評価基準

（一次審査）

評価区分	評価項目	評価事項	評価点	評価の視点
事務局採点 (60)	I.申請書類及び企画提案内容	1. 業務経歴	15	<ul style="list-style-type: none"> ・同種・類似業務の実績（豊富な業務実績を有しているか。） ・本町又は県内での業務実績（本町の状況について把握しているか。） ・提案者の信頼性（過去類似実績等から信頼できる企業であるか。）
		2. 業務実施体制	15	統括責任者及び主任担当者・担当者において、同種・類似業務の実績があり豊富な経験を有しているか（ARアプリの開発、及び地方自治体の観光・文化施設向けシステム導入の実績があるか。）
		3. 提案価格	5	事業実施にあたって適切な見積もりとなっているか
		4. 企画提案内容	25	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館の展示目的や来館者目線を意識した提案内容のわかりやすさ・具体性・独自提案など ・ARアプリは見どころ、見せ方に工夫がみられるか ・来館者が直感的に使いやすい操作性への配慮がみられるか。
評価点の合計結果			60	

（プレゼンテーション審査）

評価区分	評価項目	評価事項	評価点	評価の視点
審査委員採点 (40)	II.企画提案の内容	1. 企画・提案内容・	35	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館の展示目的や来館者目線を意識した提案内容のわかりやすさ・具体性 ・ARアプリは見どころ、見せ方に工夫がみられるか ・来館者が直感的に使いやすい操作性への配慮 ・目的に沿って、仕様書には無い独自性のある提案がされているか など
		2. 保守・サポート体制	5	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合発生時の連絡・対応の迅速さに関する方針 ・利活用の継続のためのマニュアル等について提案がされているか ・運用に係る費用等を削減するための工夫があるか など
評価点の合計結果			40	

3. 審査の流れ

※審査の慎重を期する上で、評価の総合審議を行う。

○事務局にて、評価基準に基づき審査を行い、委員会にて最終審議を行う。

○最終評価点数の集計による「最高得点取得者」を委託候補者として決定する。